



にじのはし

学校だより

豊かな心を持ち夢や目標に向かって自ら考え取り組む児童の育成を目指して



発行日
R7. 4. 15
発行者
仲村 保

令和7年度赴任式



4月10日(木)は、令和7年度の始業日。始業式に先立ち、赴任式を行いました。新しく豊崎小学校に赴任した教職員は、11名。児童会の歓迎のあいさつやPTCAからの花のプレゼントを頂き、新しく勤務することになった豊崎小学校への気持ちもより高まったのではないかと思います。これまで、在籍していた教職員も含め、この1年間、宜しくお願いいたします。

始業式 担任紹介

令和7年度は、児童数691名、職員数51名でのスタートとなりました。始業式後の担任発表の際は、新担任が名前を呼ばれるたびに歓声があがりました。

子ども達にとって、新しい担任が誰になるにかドキドキだったことでしょう。それは保護者にとっても同じではないでしょうか。この1年間、担任へのご協力をお願い致します。



4月11日(金)は、新しく118名の児童を迎え、入学式を行いました。校長として1年生にお話したのは、以下の3点。①登下校時の交通安全、車に気を付けること。②「ありがとうございます」のお話。周りの人に親切にされたら「ありがとうございます」と、言えると益々周りの人から優しくされること。③「ごめんなさい」の話。お友達とケンカになった時、「自分が悪かったな」と思ったら素直に自分から「ごめんなさい」と、言えるようにしましょうと話しました。また、この「ごめんなさい」の言葉は誰とでも仲良くなれる魔法の言葉だと話しました。1年生が3つの話を覚えてると嬉しいです。



始業式で話したこと



始業式で「思いやりの心」日本一を目指そうと子ども達に話しました。豊崎小学校の今年度の重点目標は「自他の生命を大切に、相手の立場を考え、思いやりの心を持って行動する子」の育成です。自分の命や自分を大切にすると同じくらい周りの人を大切にしましょうと話しました。そのための取組が「思いやりの心」日本一です。自分が持っている力や可能性を自分の努力によって引き出すことは、自分への思いやりです。困っている子に「どうしたの？」と声をかけることは相手への思いやり。自分の持ち物や学級の用具を大切にするのは「物」への思いやり。自分に与えられた役割や仕事を責任をもって果たすことは、周りの人に余計な負担をかけない思いやりです。このように、「思いやり」と一口に言っても、いろんな場面、状況で自分の優しさを行動によって示す「思いやり」は色々あると思います。この1年、「思いやりの心」日本一に向けて、子ども達と頑張っていこうと思います。

自分の役割を果たす思いやり



入学式準備とその片付けを5年生、6年生が行ってくれました。みんな自分に与えられた役割をしっかりとこなしてくれました。上でも書きましたが自分に与えられた役割・仕事を責任を持ってこなすことは

周りに負担をかけない他者への思いやりと同時に、責任ある行動を取ることによって自分を高める自分への思いやりであると思います。5年生、6年生のみなさん、本当によく頑張ってくれました。「ありがとうございます。」

安心・安全のために



7日(月)は、午前は豊崎中学校との合同研修で地域防災マネージャーの賀数淳氏を講師に「人が死なない防災の実現に向けて～教職員としてできること～」をテーマに校内研修を行いました。豊崎地区の地理的条件を考えると一刻も早く津波の襲来を想定して避難することの大切さを改めて学びました。午後は、豊見城警察署の署員の協力を得て不審者対策について学びました。子ども達が登校する前に安全に関する研修を行うことはとても大切なことで職員の意識の高さにも感心しました。

学年・学級開き

子どもにとって先生方との最初の出会いは緊張

2年生の学年開きの様子



4年4組の学級開きの様子



するもの。各学年、学級とも工夫を凝らした学年・学級開きを行ってくれました。さあ、新しい学年、学級での学びのスタートです。張り切っていきましょう!!